

# 外国語科

## I ドイツ語の学習目標

- (1) 外国語の学習を通じて、外国語とその外国語が使われている文化背景について学ぶ。
- (2) 外国語の学習を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする姿勢を育てる。
- (3) 外国語の学習を通じて、情報や意向を理解し、自己表現する実践的なコミュニケーション能力を身につける。

## II ドイツ語科の6年間の科目構成と学習内容

		「科目」と学習内容	発展的な内容、特色ある活動、関連する行事等
中学段階	1年	開講しない	開講しない
	2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドイツ語の初歩（アルファベット、発音等）を学習し、基本的な挨拶、自己紹介、初歩的な日常会話ができるようにする。</li> <li>・ドイツの歴史、文化、実情を学び、ドイツ、更にはヨーロッパ、世界への興味・関心を引き出す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ALTによる発音練習、聞き取り演習。</li> <li>・小テスト、単語ゲームなどで学習した単語の定着。</li> <li>・自己紹介原稿など、基本的な文を書けるようにする。</li> <li>・スピーチ、ドラマの台詞などを暗唱し、発表する。</li> <li>・DVDあるいは講師を招いて、ドイツ文化（音楽、食、スポーツ等）に親しむ。</li> <li>・クリスマスイベントを行う。</li> </ul>
	3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学2年生で学んだドイツ語をさらに発展させて学習し、日常会話等ができるようにする。</li> <li>・正しい発音、基本的文法事項を徹底する。</li> <li>・ドイツの文化（音楽、食べ物、クリスマスなどの行事）を学び、知識を深める。</li> <li>・ドイツ、ヨーロッパ、世界への関心を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ALTによる発音練習、聞き取り演習。</li> <li>・ラジオ教材の活用など聞き取り練習。</li> <li>・語彙を増やす。</li> <li>・文法、語法の演習。</li> <li>・自己紹介・他己紹介の文、手紙を書く。</li> <li>・暗唱など口頭発表活動。</li> <li>・ドイツ語検定試験の演習。</li> </ul>
高校段階	4年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学で学んだドイツ語をさらに発展させて学習し、日常会話等から実際に使うことができるドイツ語ができるようにする。</li> <li>・ドイツの歴史と現代のドイツ、ドイツ文化の特徴を学び、その知識をさらに深める。さらに自ら考え表現する能力と態度を身につける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼンテーションを中心とした発展的活動。</li> <li>・文法、語彙、表現力を強化する活動。</li> <li>・副読本を読む。</li> <li>・聴解力強化。</li> <li>・スピーチ、ダイアログを行う。</li> </ul>
	5年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学及び高校で学んだドイツ語をさらに発展させて学習し、コミュニケーション能力を高める。</li> <li>・ドイツの国、文学、政治、信仰、環境保護などのテーマを学び、知識を深める。さらに自ら考え表現する能力と態度を身につける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼンテーションを行う。</li> <li>・やさしいニュースを聞く。</li> <li>・文法、語彙、読解力を強化する活動。</li> <li>・聴解力強化。</li> <li>・スピーチ、ダイアログを行う。</li> <li>・ドイツ語検定試験の演習。</li> </ul>
	6年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学入試(共通テスト・私大入試)に対応できるだけの能力をつける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学入試問題の演習</li> <li>・文法、語法、構文の演習。</li> <li>・語彙力、読解力の向上。</li> <li>・ドイツ語検定試験の演習。</li> </ul>

\* 高校生の自由選択科目は受講希望者数によって変更があり得ます。

教科名 外国語  
 科目名 ドイツ語  
 対象 2学年選択

I 学習到達目標

- 1 ドイツ語への関心、学習意欲を深める。
- 2 初歩的なドイツ語のしくみを学ぶ。
- 3 ドイツ語の基本的表現を習得する。特に「話すこと」と「聞くこと」に重点を置く。
- 4 ドイツ語圏の人々や生活について学習し、日本との違いや共通点を理解する。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 2クラス4展開で選択授業を行う
- 2 副教材を活用し基礎を固めるとともに発展的な学習を行う。
- 3 定期的に単語テストや小テストを行い、基礎文法事項の定着をはかる

III 教科書・補助教材

教科書 クロイツング・ネオ（小野寿美子他、朝日出版社）  
 補助教材 補完プリント

IV 学習計画

学期	月	学習内容		授業時数	備考
		考査	「教科書」の学習内容 副教材・その他の学習内容		
一学期	4 5	授業内 考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドイツ語の特性。</li> <li>・ドイツ語のアルファベット、発音。</li> <li>・スペルと発音の関係。</li> <li>・基本的なあいさつ・自己紹介。</li> </ul>	30	
	6 7	授業内 考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動詞の人称変化（規則変化）。</li> <li>・疑問文の作り方、答え方。</li> <li>・100までの数字。</li> </ul>		
	夏休み 宿題		1学期の復習		単語プリント
二学期	9 10	授業内 考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動詞の人称変化（不規則変化）。</li> <li>・名詞の性、冠詞、複数形。</li> </ul>	30	
	10 11	授業内 考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名詞と人称代名詞の格。</li> <li>・形容詞。</li> </ul>		
	冬休み 宿題		1～2学期の復習。		単語プリント
三学期	1 2	授業内 考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族の説明。</li> <li>・道案内。</li> <li>・定冠詞類と不定冠詞類。</li> </ul>	18	
				計 78	
評価	以下の観点を総合して評価する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・小テストや毎学期の期末試験により、学習定着度をみる。</li> <li>・発表活動や課題提出などを通して表現能力や学習意欲をみる。</li> <li>・ドイツ語やその背景にある文化についての知識・理解度をみる。</li> </ul>				

教科名 外国語  
 科目名 ドイツ語  
 対象 3学年選択

### I 学習到達目標

- 1 中学1年間で習得したドイツ語の知識をより確かなものとしていく。
- 2 ドイツ語の基本的な表現を学習し、書く力、読む力、話す力を養う。
- 3 ドイツ語圏の国々の文化・習慣などについての知識と理解を深める。

### II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 2クラス4展開で選択授業を行う。
- 2 ドイツ語での挨拶、自己紹介、基本的表現などを繰り返し練習し、コミュニケーション能力を高める。
- 3 定期的に単語テストや小テストを行い、基礎文法事項の定着をはかる。

### III 教科書・補助教材

教科書 「ゲナウ！コミュニケーションのドイツ語ノイ」 出版社：郁文堂  
 著者：新倉真矢子、亀ヶ谷昌秀、正木晶子、中野有希子  
 「ドイツ語単語1600」三省堂、信岡資生、荻原耕平  
 ドイツ語検定試験プリント

### IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容		授業時数	備考
		考 査	「教科書」の学習内容		
一 学 期	春休み 宿 題				
	4	授業内 考查	復習と確認L1～L4まで 動詞の現在人称変化、名詞の性、定冠詞・不定冠詞 の1格・4格、代名詞、複数形、	・ALTによる発音・聞き取り練習。 ・簡単な会話と日常表現。 ・基本的文法の習得。	2 8
	6	授業内 考查	L5 所有冠詞と人称代名詞の1格・4格 『家族を紹介する。』	・ALTによる発音・聞き取り練習。 ・簡単な会話と日常表現。 ・基本的文法の習得。	8
	7	授業内 考查	L6 不規則動詞、命令形 『自分の趣味や余暇活動、人を何かに誘う。』	・自己紹介・他己紹介の文を作成。 ・ドイツ語検定試験演習。	2
二 学 期	夏休み 宿 題				
	9	授業内 考查	L7 話法の助動詞 『休暇の予定を言う。』	・ALTによる発音・聞き取り練習。 ・簡単な会話と日常表現。 ・基本的文法の習得。	10
	10		L8 3格支配の前置詞、3格の人称代名詞 『贈り物をする。洋服が買える。』	・ドイツ語で手紙を書く。 ・ドイツ語検定試験演習。	10
	10 11	授業内 考查	L9 3・4格支配の前置詞 『場所・位置が説明できる。行き方が説明できる。』	・ALTによる発音・聞き取り練習。 ・簡単な会話と日常表現。 ・基本的文法の習得。 ・ALTによるドイツの紹介。 (ドイツパン、クリスマスなど)	10 10
三 学 期	冬休み 宿 題				
	1	授業内 考查	L10 分離動詞、zu不定詞、再帰代名詞 『自分の1日の行動が表現できる。時刻が言える。』	・ALTによる発音・聞き取り練習。 ・簡単な会話と日常表現。 ・基本的文法の習得。 ドイツ音楽に親しむ。 (ベートーヴェン『喜びの歌』を ドイツ語で歌う。)	6 4
	2				
				計 70 (2単位)	
評 価	3観点（「知識・技能」、「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」）を考慮して総合的に評価する。 ・学期末試験、テキストの音読と訳の試験、会話の試験（それぞれ年に3回実施）。 ・課ごとの小テスト（単語）。 ・宿題及び提出物（自己紹介・他己紹介の文、及び手紙）。 ・授業への参加態度。				

科目名 ドイツ語 (初中級)

対象 4 学年自由選択

I 学習到達目標

- 1 中学の2年間で習得したドイツ語の知識をより確かなものとしていく。
- 2 ドイツ語の基本的な表現を学習し、それを使って言いたいことを相手に伝えたり、相手が伝えようとしていることを理解する能力を身に付ける。
- 3 ドイツ語圏の国々の歴史・文化・政治・習慣などについての知識と理解を深める。

II 授業の進め方 (授業形態等)

- 1 週1回2時間で選択授業を行う。
- 2 ドイツ語での挨拶、自己紹介、基本的表現などを、言ったり書いたり聞き取ったりできるように繰り返し練習する。
- 3 単語の暗記や独作文といったテストを行い、中学で学んだ基礎文法事項の定着をはかる。

III 教科書・補助教材

教科書 在間進著 「新装版・話すぞドイツ語！」 朝日出版社

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容		授業時数	備考
		考 査	「教科書」の学習内容		
一 学 期	春休み 宿題		なし	なし	
	4		中学の2年間で学んだことの復習と確認	30	
	5		教科書と付属のワークブックを使って 第8課までの復習		
	6 7	第1学期 期末考査	第9課：三基本形 第10課：現在完了形 休暇に何をしたら尋ねてみよう！		
夏休み 宿題		1学期の復習	不規則動詞の三基本形を暗記		
二 学 期	9		第11課：形容詞の格変化 誕生日や日付を尋ねてみよう！	30	
	10		第12課：比較級・最上級 何が一番好きか尋ねてみよう！		
	11 12	第2学期 期末考査	第13課：受動形・副文・従属接続詞 話されている言語を尋ねてみよう！		
冬休み 宿題		1・2学期の復習	不規則動詞3基本形を暗記		
三 学 期	1	第3学期 期末考査	第14課：接続法第2式 丁寧に頼んでみよう！	18	
	2				
	3				
				計 78 (2 単位)	
評 価	以下を根拠として、3観点「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」から総合的に評価する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎学期の小テストと期末考査</li> <li>・ドイツ語での簡単な発表活動</li> <li>・ワークブックや練習問題などの課題提出</li> <li>・ドイツ語やドイツ語圏の国々の文化についての関心や理解</li> </ul>				

教科名 外国語科  
 科目名 ドイツ語中級  
 対象 5 学年自由選択

I 学習到達目標

- 1 ドイツ語の基本的な文法を復習して理解を深める。
- 2 3年間学んだ中で未履修な部分（文法）を学習する。
- 3 ドイツ語のテキストを読む力を身につける。
- 4 ドイツの文化やドイツ人の気質などについて学び、知識を深める。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 今まで学習してきた文法事項の理解を確認する。理解が不十分な分野は再度詳しく説明する。
- 2 ドイツに関するトピックを読み、政治、信仰、環境保護など理解を深める。
- 3 定期的に単語テストや小テストを行い、基本的な文法事項の定着をはかる。

III 教科書・補助教材

教科書 「ドイツ語文法 魔法のくつ」 出版社：株式会社朝日出版社 著書：藤原美沙

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容		授業時数	備考
		考 査	「教科書」の学習内容		
一 学 期	春休み 宿 題				
	4	授業内 考査	復習 動詞の現在人称変化、sein・haben動詞、 語順、名詞の性、複数形、 定冠詞/不定冠詞の格変化（1, 4格） 不規則動詞、命令形、人称代名詞、 など	8 8	
	5		L4 人称代名詞、前置詞、定冠詞と前置詞の融合形 『ドイツってどんな国？』 『ドイツの有名な作曲家たち』		
	6	授業内 考査	L5 助動詞、従属の接続詞 『ドイツ文学のことを知っていますか。』 『ドイツの政治』 『東西ドイツ再統一』	8 4	
7	L6 分離動詞、非分離動詞、再帰代名詞 『ドイツの保育所、幼稚園』				
二 学 期	夏休み 宿 題				
	9	授業内 考査	L7 形容詞の格語尾変化、形容詞の名詞化 動詞の3基本形 『ドイツで病気になったらどうするの？』	8 10	
	10		L8 過去人称変化、完了形 『ドイツで暮らす』		
	10	授業内 考査	L9 関係代名詞、関係副詞 『信仰の自由』	10 10	
11	L10 比較級、最上級、現在分詞、zu 不定詞 『ドイツのスポーツ文化』				
三 学 期	冬休み 宿 題 宿 題 テスト				
	1	授業内 考査	L11 受動態 『ドイツの祝祭日』	8 4	
	2		L12 接続法 『環境保護』		
				計70 (2単位)	
評 価	以下の点から総合的に評価する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎学期の授業内考査により、知識・理解度をみる。</li> <li>・ドイツの様々なテーマの記事を勉強することにより、思考・判断・表現の能力をみる。</li> <li>・小テストや課題提出などを通して、学習意欲をみる。</li> <li>・話す能力、音読、読解の理解度を確認する。</li> </ul>				

教科名 外国語

科目名 ドイツ語上級  
 対象 6学年自由選択

I 学習到達目標

大学に合格できる実力をつけることを目指す。 1 今まで学習してきた文法の復習、未履修な部分を学習する。 2 テキストの講読をすることによって、語彙を増やし文章を読む力をつける。 3 ドイツの新聞やテキストを読むことにより、ドイツの歴史、文化、社会事情などを理解する。
--

II 授業の進め方（授業形態等）

1 定期的に単語テストや小テストを行い、基本的な文法事項の定着をはかる。 2 共通テストの過去問題、入試問題を解き、テキストを読む力をつける。
--

III 教科書・補助教材

教科書 「ミニマムドイツ語・レーゼン」朝日出版社、著者：熊谷哲哉・大喜祐太 補助教材 小論（プリント）ードイツ統一、環境保護、信仰などについて ドイツ語検定試験3級～2級問題集（プリント）
--

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容		授業時数	備考
		考 査	「教科書」の学習内容 副教材・その他の学習内容		
一 学 期	春休み 宿 題				
	4	授 業 内 考 査	受動態、関係代名詞、接続法	60	
	5		L2 Thema 2「ドイツ語圏の地理」講読 L3 Thema 3「食べ物・スイーツ」 『ドイツ統一』プリント		
	6	授 業 内 考 査	L4 Thema 4「産業」 L5 Thema 5「旅行」	60	
7	共通テストの過去問題・ドイツ語検定試験問題 文法の復習		・語彙のプリント。 ・過去問題プリント。 ・教科書の練習問題。 ・ドイツ語検定試験の演習。		
	夏休み 宿 題		1学期の復習		プリント
二 学 期	9	授 業 内 考 査	L6 Thema 6「教育制度」 L7 Thema 7「歴史」 『環境保護』プリント	60	
	10		共通テストの過去問題・ドイツ語検定試験問題		
	10	授 業 内 考 査	L8 Thema 8「哲学」 L9 Thema 9「サッカー」 『信仰について』プリント	60	
11	共通テストの過去問題		・語彙のプリント。 ・過去問題プリント。 ・教科書の練習問題。 ・ドイツ語検定試験の演習。		
	冬休み 宿 題 宿 題 テ ス ト		1～2学期の総復習。		
三 学 期	1	授 業 内 考 査	L10 Thema 10「文学」 共通テストの過去問題	36	
	2				
				計156 (4単位)	
評 価	3つ観点（「知識・技能」、「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」）を考慮して総合的に評価する。 ・学期末試験、テキストの音読と訳の試験、テキストの暗記（それぞれ年に3回実施）。 ・課ごとの小テスト（単語）。 ・宿題及び提出物。 ・授業への参加態度。				